



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 アルビス株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7475 URL <http://www.albis.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 実  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 笹田 悦朗 (TEL) 0766-56-7200  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	19,518	11.9	255	118.6	302	111.3	10	△82.8
22年3月期第1四半期	17,447	△1.5	117	—	142	—	62	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	0	33	—	—
22年3月期第1四半期	1	94	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	33,633	13,441	13,441	13,441	40.0	413	40	
22年3月期	33,772	13,647	13,647	13,647	40.4	419	72	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 13,439百万円 22年3月期 13,644百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
22年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	— —	4 00	— —	4 00	8 00
23年3月期(予想)	— —	4 00	— —	4 00	8 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	39,200	12.6	429	68.0	472	46.7	13	△89.4	0	42
通期	78,000	6.5	1,111	22.1	1,200	11.5	352	△14.3	10	86

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 2「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 一社（ ）、除外 一社（ ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	33,779,634株	22年3月期	33,779,634株
23年3月期1Q	1,270,969株	22年3月期	1,270,969株
23年3月期1Q	32,508,665株	22年3月期1Q	32,508,998株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	2
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) セグメント情報 .....	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、緩やかな景気回復の兆しが見られるものの雇用環境や所得に対する先行きの不透明感から個人消費も低調のうちに推移いたしました。

当食品流通業界におきましては、消費者の生活防衛意識の高まりにより、引き続き低価格志向が強く、価格競争が一層激化しております。

このような状況の下、当社グループは経営方針である『強い小売業への変革』に向けた取り組みを進めてまいりました。営業面では、生鮮部門の主力商品と非生鮮部門の政策商品を毎月100アイテム選定し、徹底して売り込む「チャレンジ100」を継続的に実施し、販売力の強化に努めました。ローコスト化の取り組みでは、店舗作業の効率化による生産性の向上、本部体制のスリム化と業務の見直しによる販管費の削減に努めました。

また、既存店強化策として平成22年6月に石川県内の主力店舗の2店舗を改装し、店舗活性化を図りました。

この結果、当第1四半期の経営成績は、昨年10月に子会社化した株式会社サンピューアの寄与等もあり営業収益19,518百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益255百万円（前年同期比118.6%増）、経常利益302百万円（前年同期比111.3%増）、四半期純利益は、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額232百万円を特別損失として計上したことにより10百万円（前年同期比82.8%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産合計は33,633百万円となり、前連結会計年度末と比べて138百万円の減少となりました。これは主に建物及び構築物（純額）を含めた有形固定資産合計が222百万円増加しましたが、現金及び預金が54百万円、売掛金が65百万円、商品が48百万円、流動資産のその他が79百万円、のれんが117百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

また、当第1四半期末の負債合計は20,192百万円となり、前連結会計年度末と比べて67百万円の増加となりました。これは主に資産除去債務439百万円が増加しましたが、一方で短期借入金331百万円、未払法人税等94百万円がそれぞれ減少したこと等によるものです。

当第1四半期末の純資産は13,441百万円となり、前連結会計年度末と比べて205百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金119百万円及びその他有価証券評価差額金86百万円がそれぞれ減少したこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成22年5月11日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一部の経過勘定項目については合理的な算定方法による概算額で計上しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより営業利益、経常利益がそれぞれ6百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が238百万円減少しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,228,357	3,282,801
売掛金	1,180,411	1,245,701
商品	1,487,355	1,536,306
仕掛品	701	542
原材料及び貯蔵品	54,772	60,773
その他	1,162,738	1,242,194
貸倒引当金	△149,969	△153,452
流動資産合計	6,964,367	7,214,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,286,340	7,176,349
土地	9,946,592	9,946,592
その他（純額）	1,999,692	1,887,014
有形固定資産合計	19,232,626	19,009,957
無形固定資産		
のれん	1,139,506	1,256,661
その他	395,343	405,200
無形固定資産合計	1,534,849	1,661,861
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,103,008	4,093,476
その他	2,044,689	2,038,659
貸倒引当金	△245,718	△246,657
投資その他の資産合計	5,901,979	5,885,478
固定資産合計	26,669,455	26,557,297
資産合計	33,633,822	33,772,165
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,443,256	4,456,905
短期借入金	2,353,000	2,684,000
1年内返済予定の長期借入金	2,589,375	2,740,662
未払法人税等	225,263	320,057
賞与引当金	194,077	392,562
その他	2,157,890	1,823,261
流動負債合計	11,962,862	12,417,447
固定負債		
社債	338,000	338,000
長期借入金	6,002,924	5,886,577
受入敷金保証金	869,307	880,335
資産除去債務	439,360	—
その他	579,588	602,661
固定負債合計	8,229,180	7,707,574
負債合計	20,192,042	20,125,022

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,829,322	1,829,322
資本剰余金	2,545,005	2,545,005
利益剰余金	9,541,857	9,661,037
自己株式	△304,847	△304,847
株主資本合計	13,611,338	13,730,517
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△172,138	△85,955
評価・換算差額等合計	△172,138	△85,955
新株予約権	2,580	2,580
純資産合計	13,441,779	13,647,142
負債純資産合計	33,633,822	33,772,165

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	17,219,614	19,244,624
売上原価	13,093,918	14,531,013
売上総利益	4,125,696	4,713,610
不動産賃貸収入	228,212	273,774
営業総利益	4,353,909	4,987,384
販売費及び一般管理費	4,236,869	4,731,546
営業利益	117,039	255,838
営業外収益		
受取利息	7,753	8,593
受取配当金	9,431	10,008
受取手数料	14,099	14,678
持分法による投資利益	—	4,792
受取販売奨励金	—	30,097
その他	30,235	31,528
営業外収益合計	61,520	99,699
営業外費用		
支払利息	34,320	48,689
その他	1,283	4,723
営業外費用合計	35,604	53,413
経常利益	142,955	302,125
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	2,494	4,436
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	643
特別利益合計	2,494	5,079
特別損失		
固定資産除却損	2,550	956
預託金貸倒引当金繰入額	600	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	232,325
特別損失合計	3,150	233,281
税金等調整前四半期純利益	142,300	73,923
法人税、住民税及び事業税	95,938	219,075
法人税等調整額	△16,595	△156,006
法人税等合計	79,343	63,068
四半期純利益	62,956	10,855

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	142,300	73,923
減価償却費	289,752	309,699
のれん償却額	66,340	117,154
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,849	△4,422
賞与引当金の増減額(△は減少)	△161,221	△198,485
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	△17,800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△103	928
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△41,097	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,054	965
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△4,228
受取利息及び受取配当金	△17,185	△18,602
支払利息	34,320	48,689
固定資産除売却損益(△は益)	2,550	956
売上債権の増減額(△は増加)	10,305	65,290
たな卸資産の増減額(△は増加)	△54,678	54,793
支払債務の増減額(△は減少)	242,650	361,028
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	232,325
その他	135,948	122,998
小計	629,086	1,145,215
利息及び配当金の受取額	11,030	19,016
利息の支払額	△30,005	△44,016
法人税等の支払額	△408,573	△334,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	201,537	786,093
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△348,332	△276,122
有形固定資産の売却による収入	17	—
無形固定資産の取得による支出	△2,426	△57,735
その他	4,108	△15,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△346,632	△349,348
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△125,000	△331,000
長期借入れによる収入	150,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△562,220	△734,940
自己株式の取得による支出	△36	—
配当金の支払額	△108,156	△113,042
リース債務の返済による支出	△4,322	△12,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△649,735	△491,188
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△794,830	△54,443
現金及び現金同等物の期首残高	2,914,758	3,282,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,119,927	3,228,357



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、複数の事業を展開しており「スーパーマーケット事業」「外販事業」「その他の事業」を報告セグメントとしております。

「スーパーマーケット事業」は直営での食品スーパーマーケットの展開を行っております。「外販事業」は得意先企業が経営する食品スーパーマーケットへ商品供給等を行っております。「その他の事業」は主に商業施設用地の開発及び不動産賃貸等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	スーパー マーケット 事業	外販事業	その他の事業 (注1)	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	15,711,950	3,668,528	137,919	19,518,398	—	19,518,398
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,723	45,888	83,652	131,265	△131,265	—
計	15,713,673	3,714,417	221,572	19,649,663	△131,265	19,518,398
セグメント利益	284,256	198,275	19,982	502,515	△246,676	255,838

(注) 1. 「その他の事業」の区分は報告セグメントに含まれる事業セグメントであり、商業施設用地の開発及び不動産賃貸等を含んでおります。

2. 「調整額」には、セグメント間取引消去5,653千円、各報告セグメントに配分していない全社費用252,329千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。